



- 1 第28期誓願出陣式
- 2 **羅針盤** 道標になる人が真のリーダー
- 4 点検の本格的季節到来です
- 5 躍進が誇る 事業の5本柱 ②
- 7 軒と庇を考える

第28期誓願出陣式



笠井正行代表取締役社長（最前列右から4人目）、笠井輝夫代表取締役会長（最前列左から4人目）を中心に関係者一同が集い、第28期の目標達成に向けて固く決意表明をしました。

躍進は、去る2026年2月7日土曜日に「第28期誓願出陣式」を開催いたしました。2026年のスローガンは、「お客様第一主義を軸に、挑戦・変化・大躍進の年！」ですが、これが第28期における事業の基本的方針になります。

私たちの仕事は、お客様の心を理解し、常に感謝と誠実な心で対応することが基本です。「できない理由」を探すのではなく、「どうすればできるか」を考え、お客様・お施主様の役に立つことを第一に行動いたします。それには挑戦することで今まで以上のことをする、あるいは今までと違うことをする、その変化こそが成長に直結します。こうした1人ひとりの成長が会社を発展させるのです。第28の躍進にご期待ください！

道標になる人が真のリーダー笠
井
輝
夫

(株)躍進代表取締役会長

羅
針
盤**背中**で語る

何も言わずとも「あの人のようになりたい」と思わせ、まるでその存在が道標（みちしるべ）になって、そこに追いついたら、いつの間にか次の道標に移動しており、永遠に追いかけてなくなる人こそが理想のリーダーです。

そういう人は、言葉数が少ないものです。何よりも行動と成果で語るのです。それが欲に言う“背中”で語る”ということになるのです。

その背中は、まさに後に続く後輩のための、道標になっているのです。その背中に近づき触れるためには、リーダー以上の努力をしなければ追いつきません。そして追いついたら、今度は逆に追い越すつもりでファイトを燃やすのです。

しかし真のリーダーは、そんな易々（やすやす）と追いつかれるほど甘い存在ではありません。リーダーが立っていた場所、つまり道標にたどり着くと、冒頭のように次の道標に移動しているのです。そしてまた追いかけてくのは、なによりも人望があるからです。

道標リーダーの特徴

まず前述のように背中”で語ります。背中”で語る”とは、箸の上げ下ろしみたいなことまで教えてはくれないという意味です。背中を見せて、自分で考える力を養わせなければ、部下や後輩はいつまでたっても自立できません。

また、俗にいう“いい人”ではありません。それは意地悪だという意味ではないのです。“いい人”というのは利用されやすいので、それを防いでいるのです。そんな姿を見せることは、「他人に良く思われたいなどと考えず、やるべきことに集中しろ」という無言の指針なのです。

さらに、決して自慢をしません。なぜなら皆他人の自慢話に興味がないことをよく知っているからです。しゃべるほうは熱く語りますが、聞かされるほうはその10倍以上のエネルギーを費やされ消耗するものです。

健康にも人一倍留意している

どんな分野の真のリーダーでも、「体は資本」という共通概念を持っています。肉体労働は言うまでもなく、デスクワークでも体調が万全でなければ、頭の回転が非常に遅くなることを知っています。

そして、1人の時間を非常に大切にしてお効に使います。物事を考えるには1人である時が1番集中できるためです。また休息する時も大抵1人で休みます。他人と関わる煩わしさから逃れることで、心底リラックスできることを知っているからです。

つまり、毒になるものを排除し、最も手軽な人間ドックである睡眠をきちんととることで体調を万全にしてどんどん道標を通過していくのです。そのスピードは極めて速いでしょう。

過去に囚われない

道標である以上、これから行く道筋を示してくれるものです。つまり今来た道はいつでもよいのです。これは過去に囚われないという意味に捉えてください。もちろん適切にPDCAサイクルを回して、チェック(C)して次の行動(A)につなげますが、過去に囚われると、そうした動きがスムーズにできなくなることを知っているからです。

仮に道標が過去のほうばかり向いていたら、皆を後戻りさせてしまいます。道標である以上、次の道標に向かうように、皆を前進させてこそ真のリーダーといえましょう。

健全な利益だけを追求する

ビジネスシーンのリーダーである以上、お金に対しては真摯に向き合い、その必要性を十分に理解して健全な利益だけを求めます。そういう背中を後に続く後輩や部下に見せないと、企業の社会性が毀損(きそん)されてしまうからです。

明治時代を代表する実業家・渋沢栄一氏も、その著書『論語と算盤』で、お金儲けは悪いことではないと明言しています。そしてパナソニック株式会社の創業者・松下幸之助氏も、「会社は社会の公器」と述べています。道標となる真のリーダーは、社会性のある、世のため人のためになるビジネスを実現し、道標となっていることを強く認識してください。

点検の本格的季節到来です



床下点検が本格化する季節が到来しました。躍進ではこれまで多くの住宅の床下点検業務を実施しています。5年点検では、床下のシロアリと腐朽菌、排水管系の水漏れ等を確認しています**(写真参照)**。そしてお風呂場床下の排水管の汚れも発見します。さらにシロアリ以外の害虫駆除も躍進にお任せください。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に多くの皆様の暮らしを見つめております。幸せなホーム(家庭)を実現には、住まう人の入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。

そして、「地域のホームドクター」の本領発揮といえるのが、「住まいの予防医学」の実践です。その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学を実践する地域のホームドクター・躍進」の背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度の下落は言うに及ばず、もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまいます。そのためには必ず床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

床下点検は前述の通り、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。浴室などの水周りだけでなく玄関も十分にチェックします。基礎の構造上羽蟻が発生しやすく、見落としがちになるからです。また、前述のようにシロアリ以外の害虫もたくさん存在します。

このようなチェックの実施が、「地域のホームドクター」の役割です。そして、「住まいの予防医学」を実践し、地域の皆様のご期待に応えるため、2026年も大いに活躍してまいります。床下点検からはじまる家の安心・安全は、「お客様第一主義」の躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください！

躍進が誇る 事業の5本柱 ②



笠井輝夫
(株)躍進代表取締役会長

弊社の経営理念である「躍進5原則」は、自分を円の中心に取り巻く円環である家族、社員仲間、協力業者、仕入れ先、お客様の円環を指しますが、同じように躍進が誇る事業も5本の柱で成り立っております。それは、①木材保存と『Air 飽』、②防水、③外壁洗浄・塗装、④リフォーム、⑤住まいの点検—の5つです。そして今回は連載第2回目として、防水事業をご案内いたします。

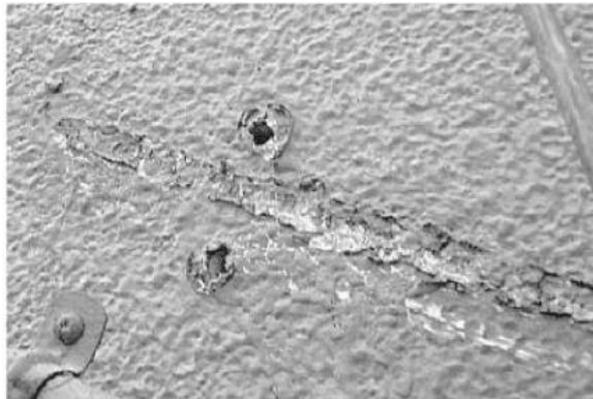
躍進の原点の1つ

防水事業は木材保存事業と並び、躍進の原点の1つなのです。そしてその主力となるのが木造住宅のFRP防水です。



上の施工写真は左がビフォーで、右がアフターです。FRP防水の保証期間は10年ですが、防水層を保護するトップコートの塗り直しなどを怠ると、防水効果が薄れていることもあります。

躍進のFRP防水は、独自の2PLY+ドレン部分の「サンドウィッチ工法」が最大の特徴です。ガラスマット1層の場合では、立ち上がりの塗膜不足や入隅・ジョイント部分の動きが大きい場合に不安が残りますが、ガラスマット2層に中塗り、トップコートという手順の場合、入隅部が4層になるため安心です。



そして、ドレン部分（左上の写真）には「サンドウィッチ工法」を採用し、躯体の動きに追従して破断、ひび割れ、剥離を防ぎます。

壁体の防水もお任せください

また、壁体内への雨水侵入を防ぐクラック（右上の写真）補修をお薦めしています。クラックやサッシ周りの傷みによって壁体内に雨水が浸入し、そのままにしておけば、シロアリや腐朽菌が発生します。特に腐朽菌は、木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して、木材を多孔質に変化させ強度を下げます。



そして上の写真は、お隣との隙間が狭く、足場が立てられないケースに対応するため、屋上からのロープによる、いわゆる「ブランコマン」の作業状況です。

処置における最大のポイントは、コーキング剤を奥まできちんと行き渡らせて埋めることです。そのうえで、補修跡が目立たないようにぼかしながら丁寧に塗装します。複雑なクラックの場合は、外壁に溝を作ってクラックを埋める処理方法も用います。

そして、何よりも再発しないようにすることが重要です。何かお気づきの点がございましたら、躍進までお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

軒と庇を考える 住宅コラム

最近では、軒や庇が深いデザインの住宅が減ったように思います。しかし軒と庇は、伝統的な日本の木造建築では、重要な意味を持つのです。

例えば軒や庇が深いと、夏場は直射日光が屋内に入りにくくなり、冬場は逆に丁度良い角度で陽射しを屋内に取り入れることが可能となります。つまり直射日光をコントロールできるので、夏場は室内の温度上昇を抑えることで涼しい室内環境が実現でき、冬場は逆に、適切な日差しを取り入れる効果もあるのです。

しかしこれは、縁側があるお住まいでは有効でも、現在はエアコンや複層ガラスの窓が普及しているため、それほど重宝されないようです。特にツーバイフォー住宅は、基本的に洋風デザインであるため、軒の出が非常に浅いのが特徴です。

それでも見逃せないのが雨除け効果です。それは給湯器やエアコンの室外機、エコキュート、インターフォン、場合によっては井戸のポンプが、軒や庇に隠れた状態で設置されている場合、その耐久年数が伸びることが報告されているからです。

現にあるお宅では、20年近く前に設置した給湯器が、1回の不具合も起こさずに利用されています。通常給湯器の寿命は10年といわれています。しかしそのケースでは軒の下に設置され、さらにその対面には植木あり、上と正面で風雨を防いでいるため、直接水滴がかからないようになっておりバーナーに悪影響を及ぼすことが一切ないのです。

さらにそのお宅では2台あるエアコンの室外機も軒と庇それぞれの下に設置されています。直接の風雨は多少影響していますが、雨だれによる機能の劣化を防いでおり、これもまた20年以上現役で稼働しているのです。

また軒や庇は、住宅密集地などで家が隣接している場合や、人通りの多い通りに面しているお住まいでは屋外からの視線を遮る効果もあります。

しかし建物のデザインとしては、ちょっと古臭いイメージがあるので人気はないようです。それでも住宅設備機器を長持ちさせる効果が大きいので、自信を持ってお施主様にお薦めしてもよろしいかと思えます。

<p>株式会社</p> <h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">躍進</h1>	<p>関連会社 株式会社 不動産事業 ヤクシンジャパン</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
<p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	